

富山県・遼寧省友好県省締結 40 年、富山県大連事務所開設 20 年のあゆみ

富山県大連事務所 所長 大西 謙二

1. はじめに

富山県と遼寧省は 1984 年に友好県省を締結し、それ以来 40 年にわたり、相互理解と信頼に基づく良好な関係を築き上げてきました。この間、両県省は文化、経済、教育など多岐にわたる分野で交流を重ね、地域発展に寄与する実績を積み重ねてきました。

2024 年は、友好県省締結 40 周年という重要な節目であり、同時に富山県大連事務所開設 20 周年という記念すべき年でもありました。

2. 友好県省締結の歴史

富山県と遼寧省の友好県省締結の歴史を振り返ると、その起源は 1979 年に遡ります。同年 5 月、中国の各界代表者が中日友好の船「明華号」で富山県を訪れ、県内各地で交流が行われました。この訪問団の中には遼寧省の代表も含まれており、両地域の友好関係が芽生えるきっかけとなりました。また、同年 7 月には富山県から第 9 回「青年の船」が中国を訪問し、遼寧省を中心に各地で友

好親善を深めました。

その後も両県省は密接な交流を重ね、1984 年には当時の遼寧省省長・全樹仁（ゼン ジュジン）氏率いる 8 名の代表団が富山県を訪問しました。この訪問を契機に友好県省が締結されました。

2020 年からは新型コロナウイルス感染症の影響により、物理的な往来や対面での交流が困難な状況が続きました。しかし、そのような逆風の中でも、両県省はオンライン技術を活用し、文化・教育分野を中心に途切れることなく交流を継続してきました。このような努力によって両地域の絆はさらに深まり、互いに支え合う姿勢が一層強固なものとなりました。

そして 2023 年、コロナ禍を乗り越えた両県省は新たな段階に入り、これまで以上に多様で深い交流が展開されています。2024 年には節目となる 40 周年を迎え、さまざまな記念事業が行われ、コロナ禍の影響により 2020 年 2 月から全面運休となっていた「富山ー大連」直行便が、6 月から週 2 便で再開されるなど、友好の歴史に新たな 1 ページが刻まれています。

3. 富山県と遼寧省の交流事業

2023 年・2024 年の遼寧省との交流のあゆみ～主な出来事

2023 年 7 月	富山ファン倶楽部 陳鉄城代表世話人が来県
2023 年 8 月	第 27 回「環日本海インターハイ」を遼寧省で開催
2023 年 9 月	県民芸術文化祭に邵玉英 省文学芸術界联合会主席が出席
2023 年 10 月	富山県ものづくり総合見本市を開催（呉 世坤 外事弁公室二級調研員が来県）
2023 年 11 月	蔵堀 祐一 副知事が遼寧省訪問（靳国衛副省長と面会）
2023 年 12 月	山本 徹 県議会議長が遼寧省訪問（「対話冰雪」日中地方冰雪文化交流イベントへ出席のため）
2024 年 4 月	【友好県省締結 40 周年】郝鵬 中国共産党遼寧省委員会書記以下計 18 名が来県（20 日～21 日）。友好県省締結 40 周年記念祝賀会の開催

2024 年 5 月	【友好県省締結 40 周年】富山県友好訪問団が遼寧省を訪問（14 日～18 日）。「富山県と遼寧省の交流と協力のさらなる強化に関する覚書」に署名。富山県議会、富山県新世紀産業機構、遼寧ファン倶楽部も現地で覚書に署名
2024 年 5 月	遼寧省人民代表大会 趙建華 人事選挙委員会副主任委員ほか計 5 名が来県（30 日～1 日）。書道・写真展の開催（31 日～4 日）。遼寧－県内企業セミナーを開催（商務庁＋遼寧省内企業関係者が参加）
2024 年 7 月	崔長征 省政府副秘書長ほか計 7 名が来県
2024 年 8 月	「環日本海インターハイ親善交流大会」を本県で開催
2024 年 9 月	【友好県省締結 40 周年】富山県大学生友好訪問団として県内大学生等 35 名を遼寧省へ派遣
2024 年 9 月	友好県省締結 40 周年を記念して、県民芸術文化祭の一環で中国遼寧省書・写真展を開催
2024 年 9 月	大連日本商品展覧会に併せて武隈義一黒部市長が大連市を訪問し、熊茂平中国共産党大連市委員会書記、陳紹旺市長と面会。友好関係締結議定書に署名
2024 年 9 月	富山ファン倶楽部 陳鉄城代表世話人が来県
2024 年 11 月	大連市外事弁公室 成英俊主任以下 2 名が来県（黒部市長との面会のため）
2024 年 11 月	【友好県省締結 40 周年】「日中植林・植樹国際連帯事業」2024 年度中国大学生友好交流代表団遼寧省分団として、瀋陽師範大学の学生 30 名が来県

4. 友好県省締結 40 周年記念式典・祝賀会

2024 年は富山県と遼寧省が友好県省を締結してから 40 周年の節目の年となりました。この記念すべき年に、両県省のトップ同士の相互訪問が行われました。



新田知事と郝鵬書記の会見の様子

まず、4 月に郝鵬（カク ホウ）中国共産党遼寧省委員会書記を団長とする 18 名の代表団が富山県を訪れました。この訪問では、友好県省締結 40 周年記念祝賀会が開催され、県内外の多くの関係

者が出席しました。祝賀会では、過去 40 年の交流の歩みを振り返るとともに、今後のさらなる交流発展への意欲が示され、祝賀会を通じて両県省間の友好関係が一層深まりました。

さらに、同年 5 月には新田八朗知事を団長とする富山県友好訪問団が遼寧省を訪問しました。この訪問の際、「富山県と遼寧省の交流と協力のさらなる強化に関する覚書」に署名が行われ、両県省の交流が新たな段階へ進むことが確認されました。また、富山県議会や富山県新世紀産業機構なども現地でそれぞれ覚書を締結し、多方面での連携強化が進みました。

5. 富山県大連事務所開設 20 周年

富山県大連事務所は、富山県との直行便があり、進出企業が多く友好県省関係である遼寧省大連市に開設されることとなり、2004 年 4 月友好県省締結 20 周年の節目に開設されました。中国における県の活動拠点として、県民、企業、大学等が実施する経済、学術・文化・スポーツなどの各種交流活動の支援を行っています。

2024年5月の富山県友好訪問団訪中時には「富山県大連事務所開設20周年記念式典」を開催し、在瀋陽日本国総領事館浜田隆総領事、大連市冷雪峰副市长など、115名が出席しました。この節目の式典は、富山県大連事務所が果たしてきた役割を改めて認識するとともに、今後の両地域のさらなる交流と発展を目指す新たな出発点となりました。大連事務所はこれからも富山県と遼寧省の架け橋として、友好関係の強化に貢献していきます。



大連事務所開設20周年記念式典の様子

6. 富山ファン倶楽部

富山県と遼寧省の交流促進に大きな役割を果たしているのが富山ファン倶楽部です。研修や留学などで富山県に滞在経験等のある中国人を対象として人的ネットワークを構築し、会員相互の親睦を図るとともに、富山県と中国との各分野における交流活動に協力することにより、富山県と中国との相互発展を図ることを目的に、友好県省締結20周年にあたる2004年に設立されました。当事務所が事務局を担っており、2024年12月時点の会員数は累計426名です。



富山ファン倶楽部設立20周年記念式典の様子

2024年5月の富山県友好訪問団訪中時に開催した「富山ファン倶楽部設立20周年記念式典」には、在瀋陽日本国総領事館浜田隆総領事など、127名が出席しました。式典では、遼寧ファン倶楽部との友好協力に関する覚書の締結式も執り行われ、同時に富山ファン倶楽部の歴史を振り返る写真展や、富山県及び遼寧省の特産品展示なども実施し、大いに盛り上がりしました。

7. 終わりに

富山県と遼寧省の友好関係は、締結以来40年を超え、現在も着実に広がりを見せています。本稿で紹介した交流の実績はその一部に過ぎず、両県省の間では職員や学生の相互派遣をはじめ、環境、観光、スポーツなど幅広い分野で活発な協力が行われてきました。また、県・省の政府レベルだけでなく、教育・医療機関や民間団体・企業の間でも積極的な交流が進められています。

富山県大連事務所としても引き続き、交流活動を支え、両県省の架け橋としての役割を果たしていきたいと考えています。